

SINCE 1926

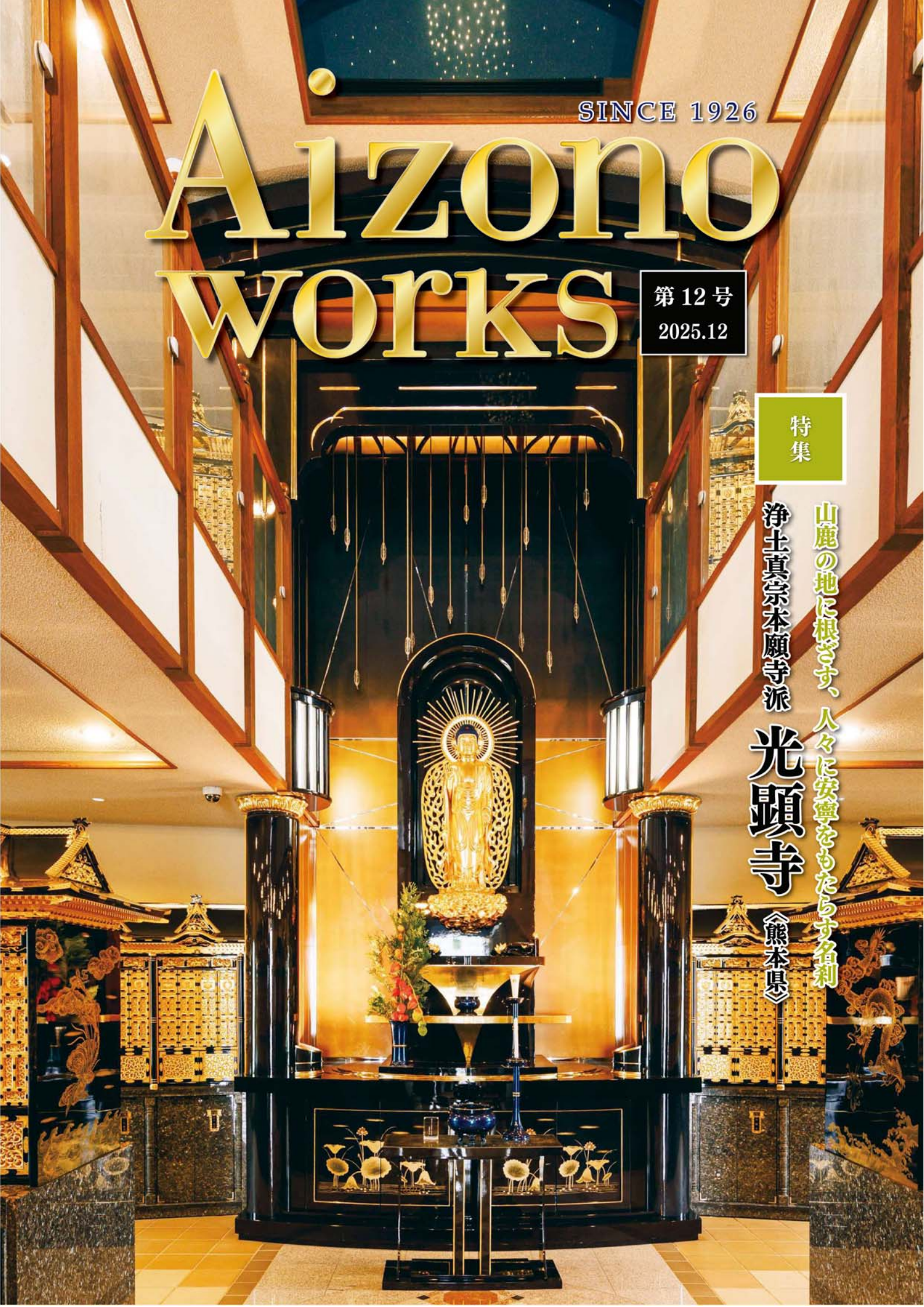
Aizono works

第 12 号

2025.12

特集

山鹿の地に根ざす、人々に安寧をもたらす名刹
浄土真宗本願寺派 光顕寺
〔熊本県〕



ごあいさつ

今年は今までに体験した事のない様な猛暑が続き、夏服が仕舞えないまま、令和7年も終わりに近づいて来ましたが皆さま如何お過ごしでしょうか。

10月には女性として初の第104代内閣総理大臣に高市早苗氏が就任されましたが、物価高や中国と台湾の問題など色んな課題や問題で大変な内閣だと思われていますが、来年は夢と希望を抱ける様な素晴らしい年になれば良いと思います。

さて、弊社もお陰様で、今年で創業100年となりました。これもひとえに皆様とのご縁の賜物であり、初代から今日まで末永くご愛顧を頂けているからこそだと、心より感謝致しております。

思い起こせば、私が31歳の時に父から弊社を引き継ぎ、早35年間の過ぎました。今考えると若気の至りで失敗した事や若さ故にやれた事、その側でいつもお客様や先代そして昔からのスタッフの方々が優しい眼差しで見守って頂いた事が今日の私を育てて頂いたのだと思います。

WORKS前号でもご報告させて頂きましたが、来年度より弊社専務取締役藍園大護を新取締役社長として101年目のスタートとさせて頂く所存でございます。これからも何卒、末永く宜しくお願い致します。

そして、35年間社長としての私を支えて頂き本当にありがとうございました。心から心から感謝申し上げます。

合 掌

株式会社 あいぞの
代表取締役 藍園 学



天の川をイメージした
光ファイバー天井

特集

浄土真宗本願寺派

光願寺

《熊本県》

山鹿の地に根ざす、人々に安寧をもたらす名刹

現在・過去・未来を
表現した床模様



開放感あふれる吹き抜けの納骨堂



納骨堂（顕真堂）外観

熊本県山鹿に悠久の歴史を刻む『光顕寺』、長屋や酒蔵が連なる情緒あふれる町並みに佇む、伝統と風情を宿すお寺です。光顕寺と株式会社あいぞのは本堂修復や顕真堂（納骨堂）の建立など、半世紀以上にわたり深い交流を重ねてきました。

今回は、お寺の歴史や両者の長きにわたる繋がりを振り返りながら、当時のことを和やかに語り合っていました。

地域を支え続けたお寺の歩み

光顕寺は天正元年（1573 年）に創建され、安土桃山時代から今日に至るまで、人々の暮らしを見守り続けてきました。西郷隆盛を盟主として起こった日本最後の内戦「西南戦争」において、この山鹿の地は激しい戦火に包まれました。その折、この光顕寺は野戦病院として多くの傷ついた兵士を受け入れ、癒やしと安らぎを与える場となりました。

戦後には、子どもたちに学びの場を提供する学堂や、地域の人々が集う公民館としても機能しました。光顕寺は単なるお念仏の場にとどまらず、人々の生活と共に歴史を刻み、困難を共に乗り越える存在であり続けたのです。

その伝統は現在第 20 代ご住職星子義成氏へと受け継がれ、納骨堂の建立をはじめ、お寺に新たな息吹を吹き込むことで、未来へと続く歴史を今もなお紡ぎ続けています。

光顕寺とあいぞののご縁

光顕寺と株式会社あいぞのとのご縁は、今からおよそ 60 年以上前にさかのぼります。光顕寺が第一納骨堂の建立をあいぞの前社長（藍園幸雄）に依頼した事がはじまりです。当時、現住職の星子氏はまだ子どもでしたが、当時の記憶は今でも鮮明に残っているといいます。それ以降、あいぞのの営業は光顕寺を足繁く訪問し、約 30 年前、本堂修復を検討していた折、前坊守様の何気ない一言「よく来てくださるあいぞのさんをお願いしてはどうかしら」が決め手となり、そこで出会ったのが、当時は専務であった藍園学社長でした。星子氏は藍園社長の人柄と志に信頼を寄せ、あいぞのへ本堂修復を託す事に決めました。

この修復工事にあたり御本尊修復を行ったのが、あいぞの仏師小川静雲（九州では唯一の京都西本願寺仏匠講認定の仏師）。その匠の手により阿彌陀如来像は見事に甦りました。星子氏は「その清らかな御姿に大きな感動を覚えました」と振り返ります。さらに、格天井には藍園社長自らがデザインした四季の花をモチーフにした彫刻が取り付けられ、本堂は新たな輝きを放つお念仏の場へと生まれ変わりました。さらに小川静雲は、60 年前に建立された納骨堂にも携っており、当時の記憶がよみがえり、懐かしい思い出話に花が咲いたそうです。藍園社長は「その技術は今、小川静雲の孫が弊社の仏師として、しっかりと受け継いでいますよ」とほほ笑みました。

「代を重ねても変わらぬ技術でこれからもアフターメンテナンスなど徹底していきます。私たちの仕事は、完成して終わりではなく、そこからが付き合いの始まりです。そのために社員教育にも力を注いでいます。」と語りました。その言葉には確かな信念が込められており、光顕寺とあいぞのの絆がこれからも続いていくことを予感させるものでした。

株式会社 あいぞの
代表取締役 藍園 学



修復された本堂

自分が入りたくなる納骨堂を

本堂修復からおよそ 10 年後、光顕寺では新たに納骨堂を建立する方針を固めました。山鹿の地は古くから墓所が少なく、門徒の皆様から「納骨堂を増やして欲しい」という願いが絶えなかったためです。

「自分自身が入りたいと思える納骨堂を建てたい」と願っていた星子氏は、圧迫感のない広々とした空間で、心から安らげる場所を目指しました。

あいぞのはその想いに応えるべく、吹き抜け構造の中央に三尺五寸の阿彌陀如来像を安置しました。この吹き抜け構造により、尊い御姿を2 階からも3 階からも拝むことのできる、開放感あふれる造りとなりました。

また、設計士と共に試行錯誤を重ね、天井には光ファイバー 3,000 本も用いた天の川を描き、床石には「過去・現在・未来」を象徴する紋様を刻み込み、手すりに至るまで細やかな意匠を施し、空間全体に統一感を持たせられています。

アルミ製納骨壇は無機質で冷たく違和感があり、好みではないとの事でしたので、温もりのある木製の納骨壇をお勧めしました。また、その納骨壇の収骨部の石材には、当時まだ珍しかったノルウェー産ブルーパールを提案しました。藍園社長の「ぜひ実物を見に来てください」という言葉に導かれ福岡へ足を運んだ星子氏は、実物を目にした瞬間「これは素晴らしい」と感動され、採用の運びとなりました。

「納骨堂完成から 20 年経った今も輝きを失ってないんです。綺麗なままなんです。あいぞのの技術の確かさを実感しました。」と星子氏は笑顔で語りました。学社長もまた「少し劣化してくれた方が仕事の機会があるんですけどね」と冗談を交えつつ、誇らしげに応じました。

こうして完成した納骨堂は、門徒の皆様から大きな喜びと感動をもって迎えられ、三階建ての室内はすぐに満堂となりました。藍園社長は、「四階建てにしてあげよかったですね」と、冗談を交えながら穏やかな笑みを浮かべました。



修復された内陣と四季の花 天井彫刻

次世代へと、繋ぐ想い

星子氏は語ります。「現在では人口減少に伴って門信徒の皆様数が減りつつあります。これからのお寺はたくさんの人に足を運んでいただけるかどうか問われる時代でしょう。光顕寺では、サマースクール（お寺に 1 泊してお寺体験）などを開催し、子どもたちにお寺の文化を伝える場を積極的に設けています。未来を担う世代に、お寺とのつながりを心に刻んでもらうことこそ、次の世代への大切な橋渡しになると信じているからです。」

振り返れば 60 年以上にわたり歩みを共にしてきた両者の関係は、お寺や仏具を超えた「人と人の絆の物語」として、確かに刻まれています。語り合ったお二人は、最後にしっかりと握手を交わしました。その力強い手と手の結びは、過去から未来へと続く信頼の証であり、新たな一歩を共に歩み出す決意を象徴していました。

2025 年 8 月 7 日取材 リポーター：総務部 後藤 朋子

Special Interview

浄土真宗本願寺派 浄土山
第20世ご住職 星子 義成氏

総務部

General Affairs
Department

知って安心 社会保険料の仕組み



経理の津田です。今回は給与から控除される社会保険料についてお話ししたいと思います。

社会保険料の中で、健康保険・厚生年金保険・介護保険・雇用保険は、企業と折半です。社会保険料は、給与から天引きされますが、この社会保険料の算出には、「標準報酬月額」が使用されます。

標準報酬月額とは、毎年7月1日に算出し「定時決定」され、9月に改定が行われます。

その年の4～6月の3ヵ月間の給与の月平均額が算出の根拠となり決定します。

この場合の給与には、基本給の他に残業手当や家族手当、通勤手当、精勤手当、管理職手当などが含まれます。

標準報酬月額は、「定時決定」「随時改定」「資格取得時」「産前産後休業終了時」「育児休業終了時」の4つのタイミングで決定・改定され、健康保険や介護保険の保険料率は、定期的に改定があるため、その度に社会保険料の変動があります。

最後に、社会保険の主な役割を！

- 健康保険・・・病気やケガでの医療費
- 雇用保険・・・失業したときの収入
- 厚生年金保険・・・高齢・障害・遺族の収入
- 介護保険(40歳から控除)・・・高齢期の介護費

この他にも様々なサポートがあるので興味がある方は調べてみてくださいね。

Writer 津田



営業部

Sales
Department

感謝と共に歩んだ 18年の道のり

平成20年9月に株式会社あいぞのに56歳で入社し、あっという間の約18年間、皆様には大変お世話になりましたが、体力的にも限界が来ており、来年の2月の誕生日を機に退職させて頂くことになりました。

在職中には色々な思い出があり、特に宮崎県都城市の摂護寺様の本堂建て替えの際の仏具工事に携わることが出来たこと、その他たくさんのお寺様から本堂や納骨堂仏具工事の仕事を受注頂いた事、思い出せば切りがありません。

しかしながら良い思い出ばかりではなく、売り上げが思う様にあがらずに落ち込んでいるときには前職の時に会った校長先生の「人間死ぬまで勉強だよ」頑張りなさいとの一言が今でも私の心の支えになっております。現在は営業部長の役職も任命頂き、向上心を持って何事にも取り組んでいけば、おのずと良い結果が得られるという事ではないかと思いました。

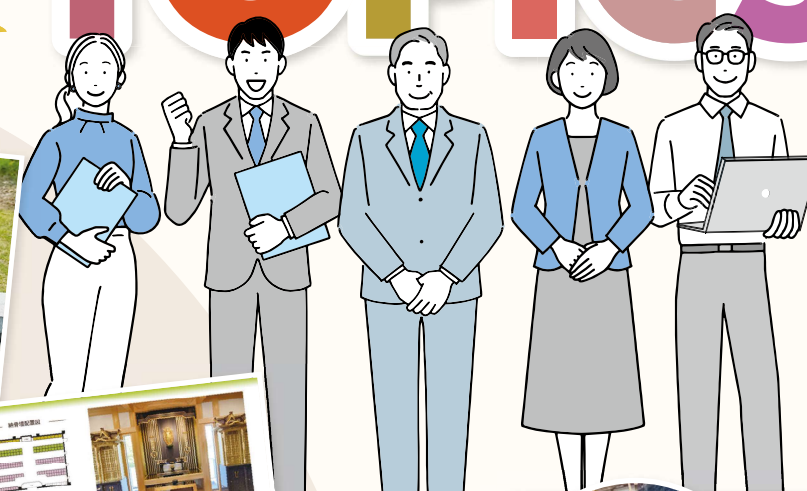
人生で最後の仕事を『株式会社あいぞの』で最後まで全力で頑張っていきたいと思っています。

退職後のこれからの人生、【人間死ぬまで勉強だよ】この言葉を心に刻み家族と共にゆっくりと頑張ってみようと思っております。

Writer 営業部長 池松敏明



AIZONO TOPICS



今号も各部署から
届いた旬の話題を
お届けします

企画 設計部

Planning and
Design Department

形になる喜びを 次への力に



私は企画設計部の一員として時折デザイン業務にも携わっています。デザインの経験は全くの未経験でしたが、上司から丁寧に指導を受けながら一つひとつ習得しています。現在はデザインツールの操作に不慣れなため、作業に時間がかかることもありますが、修正を重ねるごとにツールのスキルが向上している実感があります。

一見シンプルに見えるデザイン作業ですが、実際には細部にわたる工夫と時間が求められます。特に、自分が手掛けたデザインが実際に印刷物として形になる瞬間の喜びは格別です。まだまだ学ぶべきことが多くありますが、今後も継続的にスキルを磨き、より高いクオリティのデザインを提供できるよう精進してまいります。

紙広告だけでなく、ベンチ広告や看板広告またはユニフォーム広告など見られた際には担当営業にお伝えください。私を含め、社員一同心より嬉しく存じます。

Writer 松山



工務部

Construction
Department

インパクト ドライバーの紹介



はじめまして！入社してもうすぐ1年の工務部、瀬戸口です。

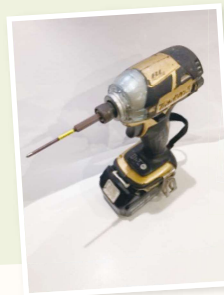
納骨壇を組み上げる工程において、確実かつ効率的に作業を進めるために欠かせないのが「インパクトドライバー」です。DIYや組立作業が趣味の方はお持ちかも知れない便利なアイテム。ネジを回すと同時に打撃を加えることで強い締め付けが可能となり、耐久性と精度が求められる製作現場において、大変重要な役割を担っています。

私自身、入社当初に初めてインパクトドライバーを手にしたとき、その力強さに驚かされました。操作に不慣れな頃は、思わぬ方向にネジが入ってしまったり、部品交換に手間取ったりすることもありました。しかし、その一つひとつの経験を通じて、正しい扱い方と道具に対する理解を深めることができました。

現在では、安定した作業を行えるようになり、仕上がりに自信を持てるようになりました。インパクトドライバーは単なる電動工具にとどまらず、正確さと責任感をもって取り組む姿勢の大切さを日々教えてくれる存在だと感じております。

これからも私たちは、一つひとつの作業に真摯に向かい、信頼いただけるお仏具づくりに全力を尽くしてまいります。

Writer 瀬戸口



あいぞの 寺社ラボ

Temples and
Shrines Laboratory

建築法が改正されました。 早めのご相談を

今回は、今年度より大きく変わった建築基準法の改正について書かせていただきます。1つは特例建物の縮小です。これまで、建築確認申請時の提出書類の簡略化及び、特定地域における建築確認申請の免除等特例を受けられていた建物の規模が縮小されております。

次に、木造建築物の取扱いについてですが、確認申請時に構造計算が必要な規模について引き上げられており、また、耐力壁量の計算方法の見直し等も盛り込まれております。最後に、全ての建物においての省エネ基準適合判定の義務化です。

今回今まで問題なく建築出来ていた建物が今回の改正で建築確認申請の必要及び、申請時に多くの書類の作成及び、構造等の強化等が必要となってまいり、設計、申請等の期間が従来より日数を要してくると思われれます。

弊社では、このような法律等も含め、御寺院様の計画プランの提案を行っております。何か事業をお考えの際は、お早めにご相談頂きます様お願い致します。

... NEW MEMBER ...

Writer 友納



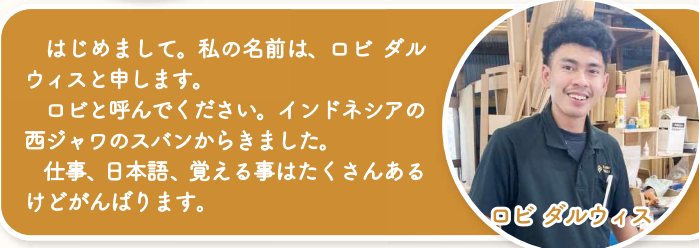
パウジ スギアルト

こんにちは。私の名前は、パウジ スギアルトです。パウジと呼んでください。インドネシアの西ジャワのマジョレンカから来ました。まだまだ分からない事だらけですが一生懸命がんばります。



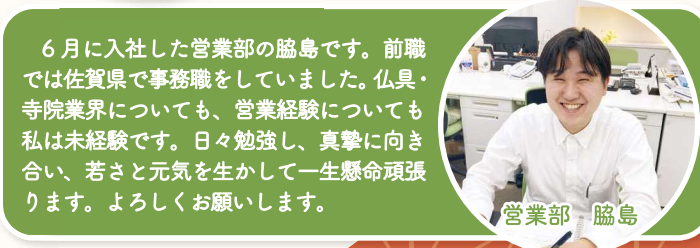
総務部 南

4月に入社した総務部の南です。以前は関西で事務職をしていました。仏具・寺院関係のお仕事、福岡の土地ともに初めてで勉強の日々ですが、早く慣れるよう頑張ります。よろしくお願いします。



ロビ ダルウイス

はじめまして。私の名前は、ロビ ダルウイスと申します。ロビと呼んでください。インドネシアの西ジャワのスパンからきました。仕事、日本語、覚える事はたくさんあるけどがんばります。



営業部 脇島

6月に入社した営業部の脇島です。前職では佐賀県で事務職をしていました。仏具・寺院業界についても、営業経験についても私は未経験です。日々勉強し、真摯に向かい、若さと元気を生かして一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

浄土真宗本願寺派

景海山 善福寺

山口県宇部市 第18世住職 島地担



本堂外観



納骨堂外観

山口県宇部市に堂宇を構える善福寺は、寛永16年（1639年）に開基了善によって創立されました。現在の住職は第18代です。第15代住職である島地黙雷は、当時、西本願寺の執行長を務め、大洲鉄然、赤松連城とともに、西本願寺における明治の三傑と称され、当時の明治政府に政教分離を実現させた事は大変大きな功績となりました。

弊社と善福寺様とのつきあいは、平成16年に先代住職が納骨堂を建立された時からの縁で、令和2年には現住職により増設工事をさせていただきました。

堂内の仏具に関して、前住職ならびに現住職様と何度も検討を重ねながら、納骨壇、永代壇、御内仏など全て弊社にて善福寺様オリジナルの仏具を納入させていただきました。

お寺では通常の年間行事に加え、あじさい展やキッズサンガを開くなど、若い方からご年配の方まで、老若男女が集うお寺として賑わっています。

リポート営業部 岡本



壁面に添って配置されたオリジナル永代壇



納骨堂 1 階



納骨堂 1 階



納骨堂 2 階

曹洞宗

玉雲山 親種寺

佐賀県伊万里市 第24世住職 瀧道紹



佐賀県伊万里市東山代町にある参道から見上げた高台の禅寺。親種寺の開創は、元亀元年（1570年）約455年前にさかのぼります。戦国の武将田尻親種の子・丹後守鑑種によって筑後鷹尾城中に建立されました。その後、現在の地東山代地区に移り住み天正17年（1589年）鑑種を開基として郷土出身の高僧不鉄桂文禪師を招いて開山しましたが、昭和62年（1987年）11月2日の朝に、落雷が発生、当時の本堂・庫裏・会館は全焼しました。当時第22世（故）瀧孝道住職は炎の中をかくぐり御本尊を抱きかかえて逃げ延びられました。その後孝道住職は丸三年間、全国の曹洞宗の御寺院へご寄附のお願いに東奔西走されその努力が実り、平成元年（1989年）には檀家や地元住民のお力添えのもと、素晴らしい伽藍が完成しました。その数日後には、第23世（故）道学住職の仏前結婚式が本堂で執り行われました。孝道住職・道学住職が他界され、現在は第24世道紹住職が法務に努めておられます。

工事など数多くのご用命を頂くと共に、お寺に寄り添いながら先代からのこの縁を大切にさせて頂いております。納骨壇は上部木製に春日タイプ・下部収骨棚にはアルミを用いた仕様になっています。

リポート営業部 吉富



本堂内陣



別製 須弥壇



第二納骨堂



上部木製・下部アルミ製



第一納骨堂

建築設計・施工のご相談も是非お寄せ下さい。
寺社専門の建築士が無料でアドバイスをさせていただきます。



専明寺（山口県下松市）



専称寺（島根県浜田市）



西本願寺（京都府京都市）



洞雲寺（東京都新宿区）



明光寺（福岡市博多区）



善正寺（広島県広島市）



萬行寺（福岡市博多区）



西方寺（長崎県佐世保市）



西養寺（熊本県荒尾市）



鹿児島別院（鹿児島県鹿児島市）



攝護寺（宮崎県都城市）



称讃寺（鹿児島県枕崎市）



唯称寺（大阪府港区）



妙願寺（兵庫県加古川市）



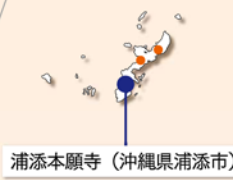
寿昌寺（神奈川県藤沢市）



妙信寺（神奈川県横浜市）



松屋寺（大分県日出町）



浦添本願寺（沖縄県浦添市）



創業100周年の「あいぞの」
 で一緒に働いてみませんか

営業部 工事部 寺社部 企画設計部 総務部

正社員募集

「株式会社あいぞの寺社ラボ」
 も正社員募集中です！

寺社仏閣のトータルプランナー



株式
会社

あいぞの

株式
会社

あいぞの 寺社ラボ

〒814-0004 福岡市早良区曙2丁目7番13号

0120-168-940

FAX.092-822-2582

あいぞのホームページ

http://www.aizono.co.jp



あいぞのグループ

- 藍園仏具店 ■ 藍園仏工舎 ■ あいぞの神具部
- あいぞの寺社部建築設計事務所 ■ あいぞの建築工房
- 東那珂工場 福岡市博多区博多東那珂3丁目6
- 上海支社 上海市松江区新橋開發区民強路289号